

グループ名	仙台市立富沢小学校 体育部					
研究テーマ	児童が日常的に運動したくなる教材の開発 ～休み時間や放課後等の時間を通して～					
分 野	授業力向上 (対象校種) 小学校 (対象教科) 体育					
研究のねらい	児童の実態調査を実施し、授業の中で運動がしたくなる学習過程を研究したり、教材を作成したりする。授業や体育的活動の取組から、児童が進んで運動する姿の手立ての有効性を探る。					
研究・活動の概要						
運動の日常化につなげることを意識して、体育の授業充実と授業時間外での現行の体育的活動の見直しを行うこととした。それにより、児童が日常的に運動（遊び）に取り組む姿勢を維持向上することにつながるのではないかと考え、実践に取り組むこととした。授業充実に向けて、学年や児童の実態に応じて「教材や場の設定、学習過程の工夫」「めあての持たせ方」「仲間との交流」を重視し取り組んだ。授業時間外の活動としては、「朝運動の工夫」「体育倉庫の開放」「体育委員会の活動」「学級の仕掛け」に重点を置いて取り組んだ。						
成果と課題						
<p>＜成果＞授業の充実が図られ、新たに器具・用具が使えるようになると、休み時間も行おうとする姿がたくさん見られるようになった。また体育委員会の新企画により、あまり使われなくなってきた用具にも目を向けるきっかけとなった。教師の声掛け（約束）や仕掛けを行うことによって、次第に進んで運動する児童の姿が増加した。このことから、児童は楽しさときっかけがあれば、運動への関心を高める取り組むことができる。</p> <p>＜課題＞教師が、体育や運動に対して児童とどのように関わるかによって、児童の意識や取組に影響が見られてくる。また授業においては技の指導に力を入れがちだが、教師は児童の目線に立って、児童の頑張りや成長を認め、褒めてあげることが大切となる。児童に運動への意識を高めるためには、授業充実と共に授業時間外の仕掛けを日々工夫し継続することが必要と考える。これらることは教師の運動への意識が大きな課題と言える。</p>						
構成員(4)名						
氏 名	所属・職名	氏 名	所属・職名			
(代表)齋藤 正知 高橋 克博 中村 恵 須田 翔太	仙台市立富沢小学校・教諭					